

兄弟の絆講演実績。

糸島社会福祉協議会・福岡県立柏陵高校・中小企業同友会博多支部・福岡きょうだい会など

10才の時から弟の事を隠し始める。

私には7才下の弟がいます。現在、画家として活躍する太田宏介です。私は、小学1年生でした。色白で可愛く、その印象は今でも残っています。弟は2才の時に知的障害を伴う中度の自閉症と診断されます。弟は自閉の傾向が酷く、近所の人にも迷惑をかけていました。そのうち私は、同級生から弟の事をからかわれて、悔しい思いをする事が増えました。この事がコンプレックスになり、次第に弟の事を隠すようになりました。だからといって、親も同じ悩みをもっていて、親にも相談できませんでした。

3人兄弟なのに2人兄弟と伝えていた学生時代。

小学生からのコンプレックスは続き、弟の事を隠すために、自宅から遠い高校を受験しました。学校から遠方だと、出身学校から私しか進学しない学校を選択しました。高校は学区内の遠い県立高校に進学し、大学も県外の大学に進学しました。

私には、年子の姉がいます。3人兄弟なのですが、私は「2人兄弟」と友人に伝えていました。また、「長男として将来的に弟を面倒みなくてはいけないのか」という使命感があり、見えないプレッシャーを感じ始めました。

ただ、弟のことは大事なのに、隠さないといけない自分も辛かったのも事実です。

転機。

大学卒業後、九州大手のアミューズメント企業に就職をし、入社6年後の支店長になりました。何かと苦労をも多い中、30才を過ぎた頃、仕事や人間関係で上手くいかない事があった時に、弟のせいにしていて自分に気づきました。そういう自分が嫌になり決意をしました。今後、弟のせいにする事をやめることを決め、会社の同僚などにも、弟の事をカミングアウトしました。

それから、少し楽になった気がしました。

結婚。

きょうだいにとっての結婚は難題かもしれません。相手が「障がいのあるきょうだいを受け入れてもらえるか」という問題。また、相手のみならず両親・家族にも理解してもらえるかという問題です。私もそれで悩んでいました。

若いころは、恋人にも弟の事を伝えていませんでした。ただ、今の妻と出会った時には、「とても大好きで大事な弟がいる」と伝えました。

脱サラ開業。

私は15年勤務した会社を退職し、絵届け問屋「kouuske」を開業します。「弟の絵を日本中・世界中のいろんな人に見てもらいたい」という想いで開業しました。37才でした。私は28才の時に、福岡市美術館主催の「ナイーブな絵画展」にてルソー・ピカソ・山下清等と弟の作品が飾られた時に、「弟は画家になる」と思っていました。その時から、弟と共に絵と仕事を通じて一緒に生きる事を考えていました。その為には、貯金も必要ですし、その間に結婚もしようと思いました。

現在、日本全国で弟の展覧会を開催しています。2018年12月で29回目ですが、100回目をニューヨークで開催したいというビジョンを掲げています。

今、思う事。

障がいのあるきょうだいは、確かにネガティブな要素はあると思います。それがコンプレックスになっている人も多いと思います。私もそうでした。

ただ、私は転機があり、ネガティブに考える事を長くするのを止めました。確かにネガティブになる事もありますが、長く考えると楽しくないからです。

最後に、私の経験からですが、きょうだいはもしかして深く考えすぎている気がしています。周りの人は、障がいのあるきょうだいがいても、意外と気にならない人も多いと思います。私たちきょうだいは、凄く高いハードルと思っている事が、実は低いハードルかも知れないと、私は思います。

低いハードルを飛びましょう！そして自分の人生を自分らしく楽しく生きて欲しいと思います。



きずな

「きょうだいの絆」講演会

～障がいをもつ弟と共に歩む～

障がいをもつ方の兄弟や姉妹である「きょうだい」

「きょうだい」の中には人知れず悩みを抱えている方もいます。その悩みや想いを共有し、理解につなげたいと講演会を開催します。

今回の講師は、「福岡きょうだい会」の太田信介さん。

きょうだいとしての想いや、「福岡きょうだい会」立ち上げのいきさつなどをお話ししていただきます。

障がいをもつ方のきょうだいの方、保護者の方など、ご興味のある方はどなたでもご参加ください。



日時 2018年**9月24日**(月・休) **10:00～12:00**

場所 糸島市健康福祉センター**あそら1階 視聴覚室**
(糸島市潤一丁目22番1号)

講師 **太田 信介 さん** (福岡きょうだい会)

参加費 **無料**

定員 **90名**

※事前にお申込みをお願いします

(申し込み・問合せ先)

糸島市社会福祉協議会

電話 **092-324-1660**

※月曜休館日 (祝日の際は翌日休館)



平成29年24時間テレビ会場にて(左)太田信介さん(右)太田宏介さん

…講師プロフィール…

福岡きょうだい会の副会長。
24時間テレビにも取り上げられた、自閉症の画家・太田宏介さんの兄。
15年間勤めた大手アミューズメント企業を退職し、絵届け問屋“kousuke”を設立。
弟・宏介さんの絵画を中心に絵画レンタル事業を行うなど、公私ともに「きょうだい」として活動している。



この事業は「赤い羽根共同募金」の配分金により実施しています。